

新コーナー

山口大学大学院医学系研究科 新任教授ごあいさつ

第 1 回 医学専攻小児科学講座教授 長谷川 俊史



平成 29 年 3 月 1 日付けで山口大学大学院医学系研究科医学専攻小児科学講座第 9 代教授および医学部附属病院小児科長を拜命いたしました。着任にあたり、山口県医師会報への原稿執筆の機会をいただきましたので、誌面をお借りして山口県医師会の先生方に謹んでご挨拶ならびに当教室をご紹介申し上げます。

私は宇部市で生まれ、山口県立宇部高等学校を卒業後、山口大学医学部に入学しました。平成 3 年に卒業後、当教室に入局し、大学病院および関連病院に勤務したのち、第 6 代教授 古川 漸 先生のもと大学院に進学し、順天堂大学医学部免疫学教室（当時 奥村 康 教授）に国内留学いたしました。私の研究の師である羅 智靖 先生（元日本大

学医学部教授）のご指導の下、ヒト血小板における高親和性 IgE 受容体の発現および機能に関する研究を行い、本学の医学博士を取得いたしました。その後再び大学病院、関連病院に勤務したあと、平成 18 年からは IgE の発見者である石坂 公成 先生が初代所長を務められた米国サンディエゴ・ラホヤアレルギー免疫研究所（室長 川上 敏明 先生）に留学する機会をいただき、アトピー性皮膚炎マウスにおけるウイルス感染に対する免疫応答を中心に研究を行いました。平成 20 年から再び大学病院に勤務しています。

現在、研究に関しては気管支喘息、ウイルス感染、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、川崎病、亜急性硬化性全脳炎などをテーマにすすめていま



す。特に 2009 年秋に山口県でも流行した新型インフルエンザ (A(H1N1)pdm09) は小児気管支喘息患児において重症発作や肺炎を引き起こしたことに興味を持ち、その病態解明と予防法の確立をめざしてモデルマウスを用いた研究を行っています。今後も当教室の特徴を最大限に生かし、山口県でしかできないことは何かを常に意識して、オリジナリティーあふれる研究をしていきたいと思えます。若い医師にはもっと高いリサーチマインドを持っていただき、臨床現場に還元できるトランスレーショナルリサーチを中心に指導していきます。国内外との共同研究も推進し、山口から世界へ情報発信していけるように、教室をあげて精進していきたいと思えます。

臨床では当科は山口県内唯一の小児三次救急医療機関です。山口県の小児医療の最後の砦となるべく、尽力しています。また、宇部市内には小児入院患者の受け入れ施設は当科のみですので、大学病院としての役割だけでなく、市民病院としての小児二次救急医療機関の役割も担っています。さらには、宇部近郊の小児夜間救急診療で一次救急医療機関としても大きな役割を果たしています。最近の若い医師や学生から大学病院ではプライマリーケアが研修できないという話を聞きますが、当科は全国的にも珍しく、一次から三次まで小児医療を幅広く研修でき、かつ研究施設としても大変魅力的な病院であると感じています。近年、小児科も内科などと同様に医療が細分化されてき

ております。私自身はアレルギー、感染症、免疫を専門とし、気管支喘息、食物アレルギーなどの患者さんを中心に外来診療をしています。外来および入院患者においては循環器、血液・腫瘍、神経、腎臓、新生児、代謝・内分泌、消化器、アレルギーなどのそれぞれのグループの専門医師が担当しています。常に診断や治療方針などについてカンファレンスを行い、最善の医療が提供できるよう心がけています。前述のごとく小児科医療は細分化されてきていますが、重症患者が入院したときは、各グループが垣根なく協力して最善の医療を提供しています。これからも山口県内の小児医療の柱になれますよう、スタッフ全員で精進していきます。山口県内で生まれた子どもたちが大人になるまで健やかに過ごせるように、当科が中心となって県内の小児科医が協力しています。小児科医は“子どもの総合診療医”です。小児科医は子どもたちを守るために昼夜なく、診療および研究に勤しんでいます。私たちは高度な医療を提供し、信頼される医師をめざしていきます。理想は“自分の子どもを受診させたい医師”です。

教育面では学生および若手医師の育成を常に心がけています。カンファレンスでは研修医や専攻医が症例提示をし、研修医や学生が常に疑問をもって質問し、指導医が総括するような体制にしています。さらに回診でも学生の教育に重点を置き、小児科学の魅力を伝え、興味を持ってもらえるように心がけています。

現在、山口大学医学部には女子学生が増加しており、当科にも女性医師が多く所属し、第一線で活躍している診療科の一つです。活躍の場は大学病院、関連病院あるいは開業医とさまざまです。結婚、出産および育児を経験して、キャリアアップしている女性医師もいます。全員が日本小児科学会専門医を取得（あるいは取得予定）され、さらにはサブスペシャルティの専門医を取得する女性医師も増えてきています。各自が小児科医としてのやりがいを感じながら長きにわたって働いてい



ただきたいと思っています。そのため育児をしながら徐々に復職できるような勤務体系を組んでおり、最終的には再び常勤医として勤務してもらえるように個々のニーズに応えながら支援しています。これは当院だけでなく、県内の関連病院にも協力してもらっています。小児科の日常診療には出産および育児を経験した医師にしかわからないこともたくさんあります。特に育児を経験すると診察室では見えない子どもの特性、子育てする



親の気持ちや苦勞を体験することができ、必ずよりよい小児科医へと成長できます（女性だけでなく男性も成長できます）。

私どもの山口大学医学部小児科学教室は昭和 21 年に山口医専に開設され、初代教授として故 浜田宗之介 教授が就任されて以来、第 2 代故 芳野俊五 教授、第 3 代故 浅野清治 教授、第 4 代故 小西俊造 教授、第 5 代故 梶井正 教授、第 6 代古川 漸 教授、第 7 代市山高志 教授、第 8 代大賀正一 教授が就任されてきました。これ

までに多くの先輩方が研鑽をつままれて日本各地の大学、病院、研究所で活躍されています。私たちも先輩方を見習い、診療、研究および教育に精進していきたいと思います。当科は医局員全員が体力、気力に満ちあふれておりますが、非常に若い教室です。山口県医師会の諸先生方におかれましては、今後とも格別のご指導ご鞭撻を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

多くの先生方にご加入頂いております！

詳しい内容は、下記お問合せ先にご照会ください

取扱代理店	山福株式会社 TEL 083-922-2551
引受保険会社	損害保険ジャパン 日本興亜株式会社 山口支店法人支社 TEL 083-924-3005

お申し込みは
随時
受付中です

医師賠償責任保険
所得補償保険
団体長期障害所得補償保険
傷害保険

損保ジャパン日本興亜

自動車保険・火災保険・積立保険・交通事故傷害
保険・医師賠償責任保険・所得補償保険・傷害保険ほか

あなたにしあわせをつなぐ

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 代理店
共栄火災海上保険株式会社 代理店

山 福 株 式 会 社

TEL 083-922-2551